

平成26年度の年間の活動

1. 住民同士のつながり向上に向けた取り組み

1) 自治会20周年記念行事

(1) 桂わくわく秋まつりの実施

今年度も桂ヶ丘自治会主催で第4回「わくわく秋まつり」を計画・実施しました。おしゃべりサロンにみなさんの協力によるぜんざい、自治会の非常食炊き出し訓練、子どもたちが楽しめるスーパーボールすくい、ペタング、ストラックアウトなどの屋外ゲームコーナーのほかに、今年は、初めてドッジボール大会を実施し懇親を深めることができました。

同日、秋まつりに併行して桜ヶ丘ハイツ地区社会福祉協議会共催の喜寿のつどいも同時開催し桂ヶ丘内公園で育んだ花をブーケにしてお渡しし、喜寿の文字通り喜んでいただき、祝いに花を添えることができました。

(2) 住まいのまちなみコンクール受賞記念モニュメントとタイムカプセルの設置

住民のみなさんからの中央公園への時計の設置について、3年前の住まいのまちなみコンクール受賞を機会に実施した桂ヶ丘まちづくり探索バスツアーで住民の知見を高めた結果、昨年度、受賞記念モニュメントとして「かげぼうし時計」の設置と、「10年後の未来に向けた手紙」を「タイムカプセル」として埋めることが自治会20周年行事として実施することが決定し、今年度、「かげぼうし時計」と「タイムカプセル」を造りました。

「かげぼうし時計」は、子どもたちが自分自身の影で時刻を知ることができる日時計で、維持管理費が不要なものです。太陽の恵みに感謝し、季節の移り変わりを実感できる環境にやさしく文教地域の桂ヶ丘に適したものと評価しました。

また、「タイムカプセル」は、20周年という節目に、今の桂ヶ丘の住民の思いを後世に伝承する場としてふさわしいと考え計画しました。

タイムカプセルには、子どもから大人までの幅広い世代から住民約100名の「10年後の未来への手紙」を入れて、埋設しました。

この「かげぼうし時計」と「タイムカプセル」は住民有志の協力の他、桂ヶ丘にご縁のある地域の多くの企業や学校のご賛同とご協力により、計画から3年の時を経てついに実現の実を結びました。

お披露目式には、富田可児市長もご来賓としてお越しいただき住民、ご賛同・ご協力していただいたみなさまと祝うことができました。



(3) かげぼうし時計周りレイアウト指導の受講

岐阜県立国際園芸アカデミーの先生と生徒の方に植栽のデザインや種類等の指導していただきました。

また、かげぼうし時計の公園レイアウトについて現場で何度も検討会を開き、ご指導のおかげで、「かげぼうし時計」は立派で住民が誇れるモニュメントとして完成させることができました。



(4) ホームページの維持管理

今年度から桂ヶ丘ホームページを正式に立ち上げて、「桂ヶ丘だより」や桂ヶ丘内で起こった情報を素早く掲載し住民に提供してきました。

今年度は、ホームページ立ち上げメンバーでの維持管理から自治会に移行していくための検討会を実施しました。

来年度から自治会による運営の目途をたてました。



(5) 桂ヶ丘花の会の発足

桂ヶ丘内に住民と市との協働まちづくり事業の一環で作り上げた小公園が4つあり、この維持管理を行っていくメンバーとして、今年度15名の仲間と活動を始めました。

今年度は、定例的な活動ではなく、各自の時間がある時に草取り、花植え、花壇のデザインの整理等世話をしています。



(6) 芝生歩道、緑道のロードサポーターの2チーム制の発足

毎年4月頃から11月にかけて、桂ヶ丘内の芝生歩道や緑道等の草刈りや木々の枝打ちを行っていましたが、当年の自治会役員班長の負担を少しでも減らすために、歴代の役員班長からボランティアを募り、ロードサポーターBチームとして発足し、2チームによる活動を展開しました。(Aチームは自治会)

(7) 桂ヶ丘だより 20周年記念特別号の発行

今年度、桂ヶ丘自治会は、20周年を迎えました。

これを記念して「桂ヶ丘だより」記念特別号を発行しました。この記念特別号には、桂ヶ丘のあゆみや歴代自治会役員殿及び地域の学校、ご講演をいただきました先生方からメッセージを頂き、桂ヶ丘地区計画を載せて住民にお知らせしました。



受賞を契機に新たに取り組んでいること

具体的な活動内容

1. 住民同士のつながり向上に向けた取り組み

1) 公共緑地の維持管理

(1) ロードサポーターの2チーム制発足と今後の清掃活動について

桂ヶ丘の特徴は緑豊かな団地で、団地内には1万m²を超える芝生の緑道や公園があります。特にメインストリートには、幅6mの芝生歩道が両サイドにあり広々とした景観を望むことができます。

4月から11月にかけて、こうした緑道の芝生の伸びが著しく、芝の刈込み回数を月2回程度行う必要があります。昨年度までは、前年度の自治会役員班長有志が、手伝う形で運用していましたが、しっかりとした仕組み作りが出来ていない状態であったので、持続性を保つために、25年度の自治会環境部長が中心となり、5年前の自治会役員までさかのぼってロードサポーターメンバーを募り、ロードサポーターの2チーム制を発足しました。しかし初年度で、活動にあたっての課題が浮き彫りになった点もあり、参加率を含め運用に改善を要する部分もあることがわかりました。今後も2チームで清掃活動を継続するか否かは、今年度末を目途に関係者にて検討した結果、参加実績などを踏まえて継続が難しいとの結果になりました。今後はロードサポーターを1チームとし、用具の貸出方法などを充実させて、住民のみなさまが更に自主清掃活動し易い環境作りを作り上げていく予定です。

(2) 小公園の維持管理「花の会」発足

協働のまちづくり事業で作りに上げてきた小公園（4ヶ所）の維持管理の仕組みづくりを進め、今年度、公園づくり事業に携わった有志がリーダーとなり、住民有志15名の仲間で「花の会」を発足しました。今年度は、定例的な活動ではなく、各自の時間がある時に草取り、花植え、花壇のデザインの整理等の世話をを行う活動を行いました。次年度は、活動を有機的に展開するために、年度初めに「花の会」キックオフ会議を計画し、活動の充実と会員の憩いの場を醸成しながら緑地維持活動を行っていく予定です。

2) 住まいのまちなみコンクール受賞記念モニュメントとタイムカプセルの設置

桂ヶ丘内中央に位置している中央公園に、住民のみなさんから時計があると子供も遊んでいて帰る時間がわかるとの声を受け、住民の皆様とさまざまな場所への親睦を兼ねたツアーを実施し、「かげぼうし時計」を設置しようということに決まりました。



中央公園内場所の選定は、昨年度、まちづくりプロジェクト講演会&ワークショップを開催し、子どもたちの意見を取り入れて決めました。

かげぼうし時計設置にあたって、かげぼうし時計の方位、設計、資材調達、現地レイアウト等は地域の建築関係企業の方や岐阜県立国際園芸アカデミーにご協力を頂戴しました。また、帝京可児高等学校中学校や近隣の桂ヶ丘に関係する団体からご賛同を頂戴し、3年の時を経て実現することができました。

かげぼうし時計の時刻数字文字は子ども会に呼びかけ、小学生に埋め込み作業を行ってもらい、周囲の花壇への花の植えつけも行いました。

桂ヶ丘に関係するみなさんのご賛同とご協力、そして、桂ヶ丘が故郷である子どもたちに手をかけてもらい、住民同士の一体感を醸成し、「かげぼうし時計」は完成しました。

これは、住まいのまちなみコンクール受賞をきっかけに、20周年という桂ヶ丘の歴史の大きな節目に、みんなで協力してやれば何でもできるという自信につなげることができ、今後の活動を展開する上での大きな一歩となりました。

今後、この自信を新たな桂ヶ丘の強みとして持続し、維持管理を進めていきたいと考えています。

3) SNSを利用した住民への情報展開

従来、桂ヶ丘の情報周知は月1回発行される「桂ヶ丘だより」を全戸に配布し住民に周知していましたが、2011年台風による暴風雨で災害が可児市で発生し、迅速な情報提供の必要性が高まりました。

フェイスブックやホームページで逐次状況をアップできたらと若い世代から提案があり、ホームページ立ち上げを進めました。

昨年度、桂ヶ丘ホームページを立ち上げ、仮運用を実施し、今年度、自治会で運用していけるように展開しました。

ホームページ内には、自治会行事、できごと、周知情報を適宜アップする他、規約等自治会に必要な書類が取れるようにも配慮しています。

→桂ヶ丘自治会ホームページは「桂ヶ丘自治会」で検索

2. 桂ヶ丘独自の取り組み活動の継続

1) 桂わくわく秋まつりの実施

桂ヶ丘は、桜ヶ丘ハイツという自治会連合を構成する桜ヶ丘、皐ヶ丘、桂ヶ丘の3つの自治会の内の1つです。

毎年、桜ヶ丘ハイツで3自治会主催の夏祭りとお祭りが行われていますが、桂ヶ丘独自の行事がありませんでした。一昔前には、子ども祭りも行われた時期もありましたが継続には至っていませんでした。

そこで、4年前から桂ヶ丘独自の行事を実施し、住民の親睦を図り、定着させるように屋外ゲームや軽食、落書きコーナー等の「桂わくわく秋まつり」を開催しました。

毎年工夫を凝らしながら継続して、今年度、4回目を実施しました。

今回、新たにドッチボールの勝ち抜き戦などが追加企画され、大人と子どもの大きな声援が中央公園に響きました。

この「桂わくわく秋まつり」は、住民に浸透してきており、次年度は、5回目の節目となります。

自治会役員が「桂わくわく秋まつり」の計画や実行にストレスを感じないように、企画・実行・参加するみんなが楽しんで、積極的に参加したくなるまつりになるように、みんなで知恵を出し、末永く継続していきたいと考えています。



駐車場の落書きコーナー

調査検討経費の使途

- 自治会20周年記念パンフレット特別号作成・配布（1800部）
- ホームページ継続的な維持管理
- 外部専門家による受賞記念モニュメント「かげぼうし時計」の制作指導・支援
- 自治会20周年記念桂わくわく秋まつり開催
- 公園・緑地の維持管理会立ち上げと整備活動
- かげぼうし時計制作

近い将来取り組まなければならない課題

住まいのまちなみコンクールの受賞を機会に、まちなみ環境維持活動チームが複数立ち上がるなど、住民有志による自立的な取組みが展開されたことは大きな成果となりました。

また、住まいのまちなみコンクールを機に展開した自治会ホームページ作成の活動による当該ホームページを見て桂ヶ丘の入居を決めた住民が生まれるなど、住まいのまちなみコンクールの受賞は当自治会にとって、大変有意義なものになりました。

今後は、以下の短期と長期の課題について取り組んでいきたいと考えています。

なお、長期課題は、活動に参加する人がストレスなく無理がない範囲で、楽しくみんなで末永く取り組んでいけるように展開していくことが大変重要であると考えています。

1. 安心できる住環境整備

1) 短期課題

(1) 防犯対策の実施

桂ヶ丘の防犯に有効な場所を選定し、防犯カメラなどの防犯に役立つ機器設置を行い、車上狙い、空巣などの事件発生がないように対応していくことが必要と考えています。

防犯と徘徊者の捜索などから防犯カメラを2ヶ所の出入りに設置することを2月に世帯投票（1戸1票）を行い賛成多数で決めました。3月末に設置予定です。

(2) 交通安全の確保

桂ヶ丘内の車の走行速度は、現在自治会独自で時速30キロ以下と定め、県道からの出入口部に表示して注意喚起を促しています。今年度、岐阜県が推奨している生活区域道路を30キロ以下と規制するゾーン30の展開を2月に世帯投票（1戸1票）を行い賛成多数でゾーン30の導入を決めました。次年度に警察、可児市によって道路標示、速度規制の表示などが設置される予定です。可児市では、桂ヶ丘が初めての導入になります。

2) 長期課題

(1) 住民同士のつながり向上に向けた取組みの深化

年4回実施する全体清掃や桂わくわく秋まつりなどを通じて、住民だけでなく桂ヶ丘と関係する学校・企業・店舗・介護福祉施設や近隣自治会等との懇親を深め、公園や芝生の清掃活動、緑道維持管理活動に共感し、積極的に参加していく意思を持つ仲間を毎年増やしていくことが必要と考えています。

各戸の庭だけでなく、フレンドリーガーデン、11個の公園、芝生の緑道など、桂ヶ丘という大きな公園の中に抱かれて潤いのある生活していることに感謝し、公園や芝生の清掃活動、緑道維持管理活動など桂ヶ丘の強みである環境維持活動を持続的な自立的活動に深化させていくことが必要と考えています。

そして、桂ヶ丘の強みである抜群の生活環境のさらなる向上を図り、幅広い年齢層の住民が豊かさを実感し、誇りを持って生活できる桂ヶ丘を目指していくことが大切だと考えています。

(2) 未整備公園の整備

桂ヶ丘の11ある公園の内、最後に残った一番大きな公園の整備に取り組んでいくことが必要と考えています。

当該公園は、市のA公園として位置付けられているので、環境に優れた文教地区という地域の強みを活かした特色ある魅力的な公園として、住民、地域に隣接する帝京高等学校中学校小学校と協力し、市の関係個所と調整を行い、公園のコンセプトを立案し、整備していく活動を展開していく必要があると考えています。

その際、住民、地域に隣接する帝京高等学校中学校小学校や市民の幅広い世代から親しまれ、未来に夢を馳せ、天の星に自身の希望をつなげることが創造できるような空間造りに取り組んでいくことが必要と考えています。

(3) 交通安全の確保

近隣で実施が見込まれるリニア新幹線工事、大型ショッピングモール工事による桂ヶ丘を取り巻く道路環境の変化を鑑み、住民の交通安全を確保し、住民の利便性を損なわないように桂ヶ丘から外へ向かうアクセス改善について、地域に隣接する帝京高等学校中学校小学校と協議し、必要に応じ、市や県に陳情書または請願書を提出し、生活優先道路の運用確保を図っていくことが必要と考えています。